

特集にあたって

本号の音響技術はホールを取り上げた。ホールの特集は4年ぶりです。前回の166号では改修・改築事例の特集を行っている。現状においても引き続き、天井脱落対策に関わる改修をはじめ、数多く建てられてきたホールの改修が行われている状況はあるが、新たなホールも全国各地に建設されている。本号では、公共・民間・学校施設などの違い、施設計画、用途、可変性、仕上げ材料など、最近の様々な事例をとりあげてみた。

本号で収録した事例は、「公共文化施設」8例、「民間施設」2例、「学校講堂」2例の計12例である。

■公共文化施設

「太田市文化会館」では、トップライトが設けられたり、内装にレンガを使用したり、特徴のある多目的ホールをご紹介いただいた。

「ゆいの森 あらかわ」では、建築計画的に魅力的な例としてとりあげられる一方、音響的な紹介が少ない図書館の中にある他の空間とゆるくつながるホールをご紹介いただいた。

「浦安音楽ホール」では、商業施設内に建設されたクラシック音楽専用ホールと、多機能ホールについて、その音響コンセプト等を詳しくご紹介いただいた。

「大和市文化創造拠点シリウス」では、外部騒音の大きな地域に建つ、図書館など様々なスペースを併設する複合施設内のホールをご紹介いただいた。

「上田市立交流文化芸術センター」では、大規模な複合文化施設の中に配置された、大小ホール、スタジオ等のご紹介をいただいた。

「豊中市立芸術文化センター」では、木仕上げが特徴的な大小ホールについて、仕上げ詳細図なども含めてご紹介をいただいた。

「くれ絆ホール」では、庁舎に併設された多目的ホールで、エア浮上座席を持ち平土間にも転換可能な多機能ホールのご紹介をいただいた。

「久留米シティプラザ」では、4層バルコニーを持つ大ホール、演劇、伝統芸能などが主用途となる中ホール、多目的に使われる小ホールなど様々なホールを持つ施設をご紹介いただいた。

■民間施設

「仙台ギクス」では、ライブハウス施設の遮音計画にくわえ、電気音響を主体としたホールの室内音響についてご紹介いただいた。

「ルミネ文化交流施設 LUMINE 0」では、民間商業施設内、バスターミナル上部に設けられたイベントホールについてご紹介いただいた。

■学校講堂

「早稲田大学高等学院73号館」では、天井脱落対策の提案として、乾式仕上げ天井を持たない、コンクリートで天井が造られた講堂をご紹介いただいた。

「ノートルダム清心中・高等学校 ノートルダムホール」では、天井脱落対策から最近注目される膜素材を天井に使用した講堂をご紹介いただいた。

以上、様々なホールの事例が収録することができた。今後のホール計画、設計に参考になれば幸いである。

(編集担当：石渡智秋(文責)、佐久間哲哉、岡本健久)

◆今までの音響技術で組まれたホール関連特集

- ・No.29 (Vol. 9 no.1 1980年1月)
オーデトリウム
- ・No.37 (Vol. 11 no.1 1982年2月)
劇場の音響
- ・No.41 (Vol. 12 no.12 1983年2月)
コンサートホール
- ・No.57 (Vol. 16 no.1 1987年3月)
最近話題のホール
- ・No.79 (Vol. 21 no.3 1992年9月)
鉄道に近接したホール
- ・No.96 (Vol. 25 no.4 1996年12月)
いろいろな特色をもつホール
- ・No.108 (Vol. 28 no.4 1999年12月)
ホールのリニューアル
- ・No.166 (Vol. 43 no.2 2014年6月)
伝統の継承、新たなる挑戦－ホールの改修・改築